

Cam-Tite

カムタイト® 付タイヤチェーン

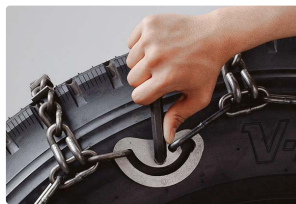
チェーンの締付けがワンタッチでOK!

「厳寒の中での大型チェーンの着脱」という、ドライバーの時間と手間と負担を解決。

大型のタイヤチェーンは質量も大きく、厳寒のなかでの緩みのない装着作業には時間と手間がかかります。このような悩みを解決するのが、カムタイト付タイヤチェーン。サイドチェーン(外側)にカムタイトを取付け、ワンタッチでチェーンの締付けを可能にしました。

(サイドチェーン線径が5.54 mmの品番には3ヶ所、7.00 mmおよび7.9 mmの品番には4ヶ所ついています。ライトマックスはサイドチェーン線径が4.5 mmの品番には3ヶ所、5.00 mmの品番には4ヶ所ついています。)

1 カムを締める前の状態 (緩めた状態)



2 レンチでカムを 締めはじめたところ



3 カムを締めた状態



(カムタイト半円は上下逆のものもあります)

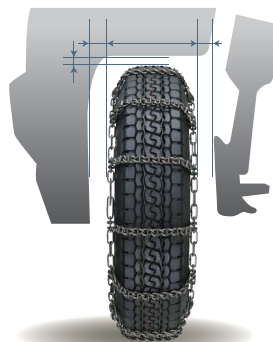
- バンド不要、着脱作業が簡略化されます。
- 完全に緩みなく装着できるので、走行中のクロスチェーンへの衝撃(遠心力により、クロスチェーンがタイヤから浮き上がり、路面にたたきつけられる)が小さくなり、クロスチェーンの寿命が長くなります。
- 路面のいたみも少なくなり、乗り心地も向上します。
- タイヤにピッタリとフィットするので、クリアランスの狭い車に最適です。

[装着・走行上のご注意]

1. 装着前に全てのカムタイトが「緩めた状態」になっているかを確認し、「締めた状態」のものがあれば緩めてください。カムタイトがタイヤの外側になるようにかぶせます。
2. 内、外側のサイドリンクの余りリンク数が、できるだけ同数になるように装着してください。
3. 内、外側のサイドチェーンを連結した後、車軸を前後に5~6 m 移動させますとチェーンに緩みができますので、再びリンクをできるだけ詰めて、チェーンの緩みをとってください。
4. 最後に、付属レンチでカムタイトを締付けてください。
(締付けは出来るだけ対角線上のものから行えば片寄りが少なくなります。)

※装着時には1~2個のカムタイトでも十分な締付けが得られるようにサイドチェーンのリンクを出来るだけ詰めておいて、残りは増締めの際に使用してください。(最初から4ヶ所全部のカムタイトを締めて張力を得るようなことは避けてください。)

クリアランスの狭い車に最適!



5. 走行中、チェーンに緩みが出てきたら、残りの「緩めた状態」のカムタイトで増締めをし、走行してください。

※カムタイトは、適度な締付けを行ってください。(締付けすぎると、タイヤのトレッドやサイドウォールを傷める場合があります。)

注) 1. ラグチェーン・トラッカーファイブは「六角レンチ」(市販品 JIS B 4648 六角棒スパナを付属しています。)

サイドチェーン線径が 5.54 mm 用には M12 用、それ以外は M14 用となります。(紛失時には、お近くの工具店などで購入できます。)

2. ライトマックスは専用の「四角レンチ」(付属品)をご使用ください。